

(様式第4号)

第2回上田右岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和7年5月19日 午後1時30分から
3 会場	中央公民館
4 出席者	岩佐委員、永本委員、小川委員、北澤委員、久保田委員、小林委員、塩入委員、橋詰委員、原委員、宮下委員、柳澤委員、吉田委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】平田市民参加・協働推進課長、田中中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、小場豊殿地域自治センター長、間宮豊殿地域振興政策幹、関地域内分権推進担当係長、櫻井地域内分権推進担当係長、横澤豊殿地域統括幹、唐澤地域内分権推進担当主査、石井地域内分権推進担当主査、桐山地域内分権推進担当主任
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年5月20日
協 議 事 項 等	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 協議事項	(1) 住民自治組織の役割と今後の在り方について (市民参加・協働推進課長) 上田市は合併から20年目を迎え、地域協議会も10期目で20年目となり、今後10年の総合計画がスタートする節目となる。市としてこれまでの取組みの振り返り及び検証をしていく中で、昨年6月に地域協議会の在り方について諮問させていただいた。また、住民自治組織の役割と今後の在り方についても昨年度から継続して協議をお願いしている。地域協議会の設置単位について、右岸・左岸地域協議会ともに「上田地域を一つにしていくことが妥当である」というご意見をいただいたため、第11期地域協議会に向けて条例の改正及び新たな委員選考等について準備を進めている。 住民自治組織の役割と今後の在り方については、6・7月に住民自治組織の皆さんにお越しいただき、それぞれの組織の状況を確認いただく懇談の場を設ける。昨今は人口減少と少子高齢化により、従来は自治会が中心となっていたまちづくり活動を、一つの自治会ではやりきれないという課題が出ており、そういった課題の解決を図るために自治基本条例に基づく住民自治組織を置き、自治会よりひとまわり大きな地域の共通課題を解決する、という方向にシフトしてきた。設置から10年が経とうとしており、組織の在り方について皆さんの意見を聞きながら見直してまいりたい。 10年間を振り返ると、各住民自治組織においては、自分達で考えて自分達でまちをつくる、という基本理念のもと様々な活動や取組みをされてきた。本来であれば、自治会・地区自治会連合会・住民自治組織が地域課題を共有して役割分担できていれば良いが、全ての地域で体制が整っているわけではない。 上田市の将来のまちづくりを考えた場合に、共通の地域課題を解決するために設立されてきた住民自治組織にどのようなことをしてもらったのが良いか、地域協議会委員の皆さんにご意見等をお伺いしたい、というのが諮問の趣旨となる。市民向けアンケートや自治会向けアンケートから読み取れる傾向や住民自治組織との懇談会を通じて、住民自治組織に担っていただけたような分野や課題等をまとめていただき、意見書として

提出いただきたい。

また、自治会連合会においても地区自治会連合会の在り方を見直す検討が始まっている。上田地域の地区自治会連合会では毎月、市からの情報伝達及び話し合いの場を設けているが、地域によっては地区自治会連合会の会議は行われず、毎月開催している定例役員会の内容も地元の自治会長へ情報伝達がなされていない、という問題があり議論されている。

自治会長の中には住民自治組織と自治会連合会の役員を兼任されている方もいるため、会議の回数が倍になった等のご意見もいただいております、市としても重複する機能はなるべくシンプルにしていきたいと考えている。これらを踏まえて、住民自治組織にどのような役割を担っていただけるか、可能であれば自治会連合会の在り方も含め、市民の目線でご意見をいただきたい。

(地域内分権推進担当係長)住民自治組織ごとのワークシートを配布してある。10月の答申案作成を見越した構成になっている。

1 ページ目は住民自治組織の基本情報及び市から地域協議会への諮問内容を記載してある。

2 ページ目以降は住民自治組織へ伺う質問事項を記載いただく。委員の皆さんで協議いただき、ご意見を質問事項として取りまとめていただきたい。

「①設立からこれまでの住民自治組織の活動の成果について」及び「②地域課題を解決してきた取組や地域との連携事業について」に関する聴き取りは、住民自治組織そのものについてお伺いするもの。これまでも各組織の活動内容に関する資料を配布しているため、活動等の詳細についてお伺いしたいことがあれば、質問事項として挙げていただきたい。

「③合併前後の自治会や地区連合会の活動の変化や課題について」は、住民自治組織の役員を務めている方の多くが自治会長等の自治会役員を経験されていることから、合併前後と現在を比較して変化したことなどお聞きしたい。また、住民自治組織の立場から見た自治会の変化も併せてお伺いしたい。

「④住民自治組織が今後役割を担うことが可能な分野について」は、自治会向けアンケートの結果から、自治会の課題と住民自治組織の活動内容を照らし合わせて、自治会と住民自治組織が連携し補える分野を協議いただき、質問等があれば次回以降の懇談会でお伺いできるようにご準備いただきたい。

「⑤地域協議会と地域振興課（または上田市）が住民自治組織へすべき支援について」は、このとおり住民自治組織の方にお伺いしたい。また、より具体的にお伺いしたい事項があれば、質問項目として挙げていただきたい。

(地域別に分かれてグループワーク)

(会長)各グループにて話し合った内容を報告いただきたい。

(委員)中央地域にある3組織の活動及び地域の特色について確認を行った。北部地区は、病院など公共施設が充実しており、交通の便が良く、比較的まとまりのある地域である。南部地区は、令和5年に住民自治組織が設立されたばかりのため、まちづくり計画は策定されていないが、防災の取り組みの一環として、令和5年に長野市長沼地区を視察し、川の氾濫等に備えた防災備品の整備について検討を進めている。神川地区では、住民自治組織が丸子地域や豊殿地区の取り組みを参考に、自宅まで送迎してくれるタクシーを活用した移動支援の準備を進めている。また、歴史文化についてまち歩きマップの発行にも取り組んでいる。

中央地域は各住民自治組織が設立されて日が浅く発展途中のため、組織の活動を充実したものにするため

に自治会との連携を進めているところ。

(地域内分権推進担当主査)住民自治組織への具体的な質問事項を決定するには至らなかったが、住民自治組織の活動状況及び課題を共有し、それらを踏まえて諮問内容に沿った質問をする、ということ。

(西部地域振興政策幹)住民自治組織が今後、役割を担うことが可能な分野について、一つは地域防災活動が挙げられた。西部・塩尻地区は水の災害に弱い地区であり、広域的に取り組まなければならない課題として認識しており、消防団との関わり方等をお伺いしたい。また、住民自治組織として防災についてどのような考え方を持っているのか、また、どのような対策を取っているのか、ということを質問したい。

二つ目として住民交流の場の増加。住民自治組織は様々なイベントを実施しているが、主催が住民自治組織であるということを知られていない。また、周知方法も充分ではなく住民に届いていない。どのような周知方法をとっているのか、住民にしっかり届いているのか確認したい。

三つ目として高齢化社会への対応。介護予防体操など、住民自治組織が実施する行事は西部公民館で行うことが多いため、塩尻地区の方になかなか来ていただけない。交通手段についてどのように捉えているのか、高齢化について広域的に考えた方が良いのではないか、という内容をお伺いしたい。

(豊殿地域自治センター長)神科・豊殿地区から選出されている委員は、住民自治組織の役員等を兼ねている方が多いため、住民自治組織の立場も踏まえた協議となった。

住民自治組織の役員の高齢化が進んでおり、組織の課題として次世代の人材に繋げる方法を検討している、という意見があった。

また、神科・豊殿地区の住民自治組織は中学校区が重複していることから、子どもたちの活動や中学校区単位で考えるべき内容については住民自治組織同士が連携して、大きな括りとして考えていく必要がある、という意見もあった。

地域の移動手段について、高齢者だけでなく児童生徒や学生も移動の足がない、といった地域のニーズを住民自治組織が把握し対応可能か検討していく必要がある、というご意見をいただいた。

市の縦割り行政が見受けられる中、例えば社会福祉の問題は住民自治組織と福祉課、社協や地区社協など様々な団体を含めて協議する必要があるのではないか、という提案をしてまいりたい。

(地域内分権推進担当係長)本日いただいたご意見は、事務局にて質問・確認事項として整理させていただき、事前に住民自治組織とも共有して次回の懇談会にご出席いただけるように調整する。

(2) その他

4 事務連絡

次回 令和7年度 第3回

日時 令和7年6月16日(月)午後1時30分から

場所 西部公民館

5 閉会